

平成 27 年 7 月吉日

作業療法士 殿

第 25 回日本作業行動学会学術集会
大会長 西川 拓志

第 25 回日本作業行動学会学術集会の開催について

謹啓 猛暑の候、貴社ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、当学会の活動にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、第 25 回日本作業行動学会学術集会を平成 27 年 9 月 5 日（土）・6 日（日）に開催いたしますので、ご案内申し上げます。

第 25 回日本作業行動学会学術集会を金沢で開催するにあたり、メインテーマは『ニッポニア MOHO』、サブテーマに『日本文化に理論と実践を紡ぐ』としました。

今回は当学会の発足後四半世紀、25 周年の記念大会であり、“OT ルネサンス” 作業行動理論とそれを現代化した MOHO が当学会長の山田孝により日本に紹介されてから 30 年が過ぎ、今まさに成熟期を迎え、過去を振り返り新たな一步を踏み出す年といえます。

日本独自の文化や環境を米国で開発された概念的実践モデルにどのように反映させていくのか？いや、文化を超えた普遍的な理論・モデルと考え、オリジナルを尊重していくのか？そんなことを節目の本学術集会で考えることが出来ればよいと思っています。

また、金沢は実践家が MOHO をリードしてきた土地です。実践家にとって最も大切な事例研究の重要性も再検証していきます。文化のなかに臨床があり、臨床なかに文化がなければなりません。

金沢という伝統文化が色濃く人間作業に影響している街で皆様と作業療法について語り合えることを心待ちにしています。大勢のご参加をよろしく申し上げます!!

敬白

問い合わせ先

第 25 回日本作業行動学会学術集会

大会長 西川 拓志

石川県立中央病院 リハビリテーション科

石川県金沢市 鞍月東 2 丁目 1 番地

電話：076-237-8211 FAX:076-238-5366

e-mail : ot - nishi@ipch.jp

第25回 日本作業行動学会学術集会



in 金沢

テーマ ニッポニアMOHO 日本文化に「実践」と「理論」を紡ぐ

会期:平成27年9月5日(土)・6日(日)

会場:石川県立中央病院健康教育館(石川県金沢市鞍月東2-1)

大会長:西川 拓志(石川県立中央病院)

実行委員長:東川 哲朗(金沢脳神経外科病院)

大会長講演

ある臨床家の概念的ポートフォリオ

特別講演

実践における事例研究の意義
を問い直す

講師:斎藤 清二(立命館大学)

シンポジウム

日本における作業行動とMOHOの発展
のためにやるべき事

シンポジスト

野藤 弘幸(常葉大学)

井口 知也(大阪保健医療大学)

南 庄一郎(やまと精神医療センター)

プレワークショップ

OSAとMOHOSTの評価実習

講師:山田 孝(目白大学)

一般演題発表

応募期間:平成27年4月20日～

平成27年7月20日

発表形式:一般演題(口述、ポスター)

公開事例検討

申し込み方法:<http://www.jsrob.org/>

ワールドカフェ

どのように日本文化をMOHOに合わせ
ていくか

ナイトセミナー

日時:平成27年9月5日 18:30～20:30

於:さくら亭(兼六園横)※送迎バスあり

問い合わせ先

第25回 日本作業行動学会学術集会

西川 拓志 Mail:ot-nishi@ipch.jp